

桑員地域 循環型社会形成推進地域計画
(第二期)

桑名市
いなべ市
木曾岬町
東員町
桑名広域清掃事業組合

平成23年12月19日
平成26年9月29日変更

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	1
(4)	広域化の検討状況	2
2	循環型社会形成を推進するための現状と目標	4
(1)	一般廃棄物処理の現状	4
(2)	生活排水の処理の状況	5
(3)	一般廃棄物等の処理の目標	6
(4)	生活排水処理の目標	7
3	施策の内容	8
(1)	発生抑制、再使用の推進	8
ア	有料化	8
イ	環境教育、普及啓発、助成	8
ウ	マイバッグ運動	8
エ	生ごみ減量化対策	8
オ	資源ごみ等の集団回収活動	9
カ	バイオマス事業拡大	9
キ	市民・事業者・行政の役割	9
ク	生活排水対策	9
(2)	処理体制	9
ア	家庭系ごみの処理体制の現状と今後	9
イ	事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後	10
ウ	生活排水処理の現状と今後	10
エ	今後の処理体制の要点	10
(3)	処理施設の整備	12
ア	廃棄物処理施設	12
イ	合併処理浄化槽の整備	12
(4)	施設整備に関する計画支援事業	13
(5)	その他の施策	13
ア	再生利用品の需要拡大事業	13
イ	家電リサイクル法に関する普及啓発	13
ウ	不法投棄対策	14

エ 災害時の廃棄物処理	14
4 計画のフォローアップと事後計画	15
(1) 計画のフォローアップ	15
(2) 事後評価及び計画の見直し	15
＜様式、添付資料等＞	
様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1	16
様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2	18
様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧.....	19
参考資料様式2 施設概要.....	20
参考資料様式5 施設概要（浄化槽系）.....	21
参考資料様式6 計画支援概要.....	22
添付資料1 現有処理施設概要.....	23
添付資料2 主な指標のトレンドグラフ.....	24
添付資料3 生活排水の主な指標トレンドグラフ.....	25
添付資料4 現有処理施設の位置.....	26
添付資料5 あじさいクリーンセンター位置図.....	27
添付資料6 桑名市浄化槽整備区域図.....	28

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名：桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町

面積：394.57 km²

人口：221,934人（平成23年11月1日現在）

（内訳）

市町村名	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
面積 (km ²)	136.61	219.58	15.72	22.66
人口 (人)	142,501	46,659	6,877	25,897

(2) 計画期間

本計画は平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間を計画期間としました「桑員地域循環型社会形成推進地域計画（第二期）」とします。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとします。

(3) 基本的な方向

桑員地域（以下、「本地域」という。）は、三重県の最北部に位置し、愛知県、岐阜県、滋賀県に接しています。また、本地域は名古屋市に近い好立地でありながら、東側には長島温泉や多度大社、西側には鈴鹿山脈等、観光地としての資源などを活かし、桑名市を中心とした経済圏・文化圏が形成されています。

本地域（2市2町）のごみ処理については、主に桑名市、いなべ市の員弁町地区、木曾岬町、東員町で構成する桑名広域清掃事業組合（以下「桑名広域」という。）と、いなべ市のあじさいクリーンセンターで効率的に処理しております。

また、本地域では平成20年より「桑員マイバッグ運動」に取り組み、地域が一体となっごみの減量化に取り組んでおり、また並行してごみ袋の有料化などによる排出抑制にも取り組んでおります。

近年のごみ処理状況では、ごみ排出量は減少傾向にあるものの、リサイクル率は概ね横ばい傾向にあり、より一層のごみ減量・再生利用を推進するために、家庭系ごみの大部分をしめる生ごみ及び容器包装廃棄物について、ライフスタイルの見直し等による発生抑制を推進し、事業系ごみについては、ごみ処理手数料の見直し、事業所へのごみ減量の啓発等により排出抑制を進めます。

本地域では、循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化、資源化の推進をめざし、これまでリサイクルに関する施設の整備を実施してきました。

平成 15 年には桑名広域にリサイクルを積極的に進めるための「リサイクルプラザ」を、平成 19 年にはいなべ市のあじさいクリーンセンターにプラスチックごみとペットボトルを選別、圧縮、梱包する「圧縮梱包施設」、平成 21 年には桑名広域にプラスチックごみを選別、圧縮、梱包する「圧縮梱包施設」の運用を開始し、3 R (Reduce: リデュース、Reuse: リユース、Recycle: リサイクル) の推進を行っております。

なお、本地域の可燃ごみのうち、桑名広域に搬入されるものについては、同施設において固形燃料 (RDF) 化され、その固形燃料を三重ごみ固形燃料発電所において有効利用されておりますが、三重ごみ固形燃料発電所については、稼働期間が平成 32 年度までとなっていることから、構成市町で平成 33 年度以降のごみ処理体制については、ごみ処理のあり方検討会において今後の処理体制を検討する必要があります。

いなべ市のごみ処理施設 (あじさいクリーンセンター) についても計画的かつ効率的な維持管理や更新等を検討し、長寿命化及び一層の効率化を図ります。

以上のことから、本地域の循環型社会形成推進地域計画の策定における基本的な情報の収集範囲 (対象地域) については、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町及び桑名広域を対象とします。

一方、生活排水は、公共下水道、農業集落排水施設、し尿処理施設、合併処理浄化槽で処理されていますが、本地域の河川・海域など公共用水域の水質汚濁を防止するため、生活排水に対する住民意識の向上を図るとともに、合併処理浄化槽の普及の推進に取り組んでいきます。

【参考：市町村合併の経過】

平成 15 年 12 月 1 日：いなべ市誕生 (北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併)

平成 16 年 12 月 6 日：(新) 桑名市誕生 (桑名市、多度町、長島町が合併)

(4) 広域化の検討状況

循環型社会を構築していくためには、周辺の自治体との協力や連携を図っていくことが重要であると考えます。前述のとおり、既に桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町の 2 市 2 町で「桑員マイバッグ運動」も展開しており、地域一帯となつてごみ排出量減少にむけた取り組みがなされております。

一方、いなべ市のあじさいクリーンセンターは平成 5 年 12 月から稼働しており、稼働後 18 年が経過し、その間、定期修繕等として耐火物の補修・一部交換等を適正に実施し、適正かつ経済的な処理に努めています。

本来、稼働後 18 年が経過しているため、新施設への更新計画等を検討する時期ではありますが、他の自治体同様、いなべ市においても財政的に厳しい状況にあるとともに、新施設の設置場所等、確定していない検討事項が山積みであるのが現状です。

そのため、今後の広域化処理等も考慮し、当面は既存施設において適正に処理する方法として「基幹的設備改良事業」を実施し、延命化措置を実施するとともに、地球温暖化対策に資す

る施設に設備改良することとしました。

また、三重ごみ固形燃料発電所の今後の動向（「RDF発電所」の稼動期間等の動向）を勘案すると、本計画期間内に「計画支援事業」等が生じることも十分に考えられますが、その際には、本計画の見直し・期間延長等にて適正に対応します。

さらに、三重県が策定した「三重県ごみ処理広域化計画」が今後見直された際には、その都度、桑員地域全体での広域的な処理体制の構築について調整を行うこととします。

2 循環型社会形成を推進するための現状と目標

(1) 一般廃棄物処理の現状

平成 22 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりです。

総排出量は集団回収量も含め 71,941 t、再生利用される「総資源化量」は 43,703 t、リサイクル率（＝（直接資源化量＋処理後再生利用量＋集団回収量）／（排出量＋集団回収量））は約 61%です。

中間処理による減量化量は 23,472 t であり、集団回収量を除いた排出量の概ね 3 割が減量化されています。また、集団回収量を除いた排出量の約 6%にあたる 4,304 t が最終処分されています。

なお、地域の可燃ごみを処理している三重ごみ固形燃料発電所については、稼働期間が平成 32 年度までとなっていることから、構成市町で平成 33 年度以降のごみ処理体制について、ごみ処理のあり方検討会において今後の処理体制を検討する必要があります。

また、いなべ市の焼却残さについては、平成 22 年度までは廃棄物処理センターで有効活用されていましたが、当施設が平成 22 年度末で受け入れを停止したため、現在は民間委託にて適正に処理しています。

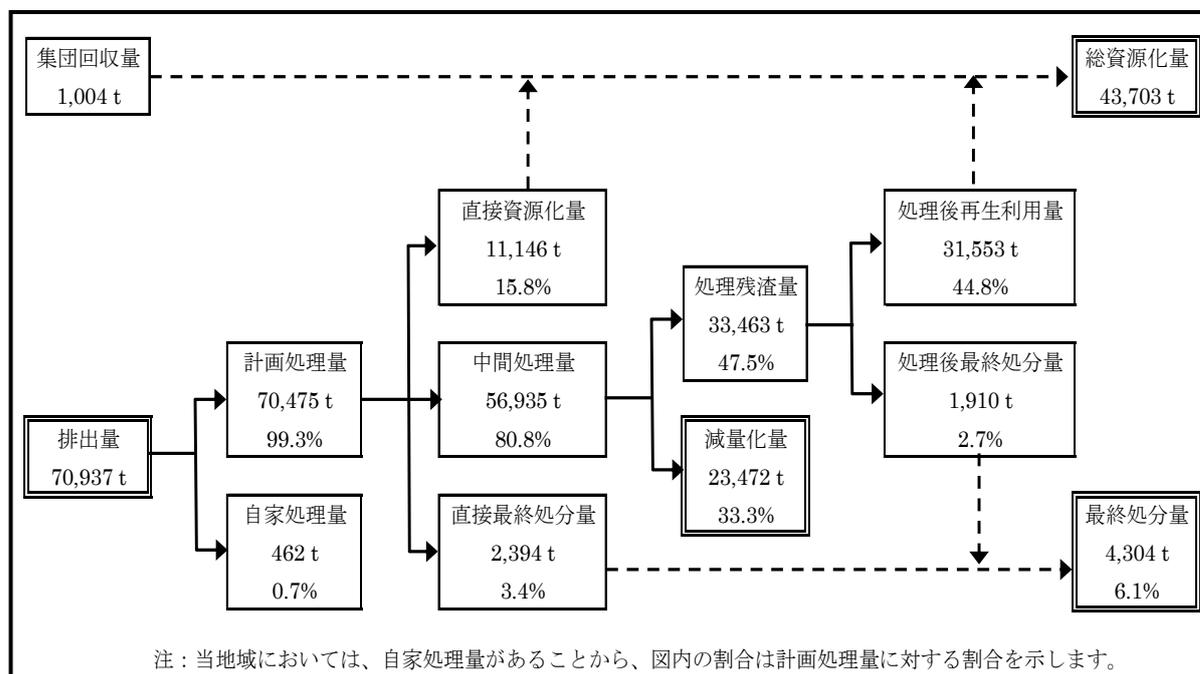


図 1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 22 年度）

(2) 生活排水の処理の状況

平成 22 年度の生活排水の処理状況及びし尿・浄化槽汚泥の排出量は図 2 のとおりです。

なお、当地域では、将来的にみても浄化槽施設整備が桑名市に限られることから、本計画では、桑名市のみを対象としました。

桑名市では、生活排水処理対象人口は、全体で 142,371 人であり、処理人口は 118,474 人、汚水衛生処理率は 83.2%です。

し尿発生量は、4,983k1/年、浄化槽汚泥発生量 32,758 k1/年、処理・処分量（=収集・運搬量）は 37,741 k1/年です。

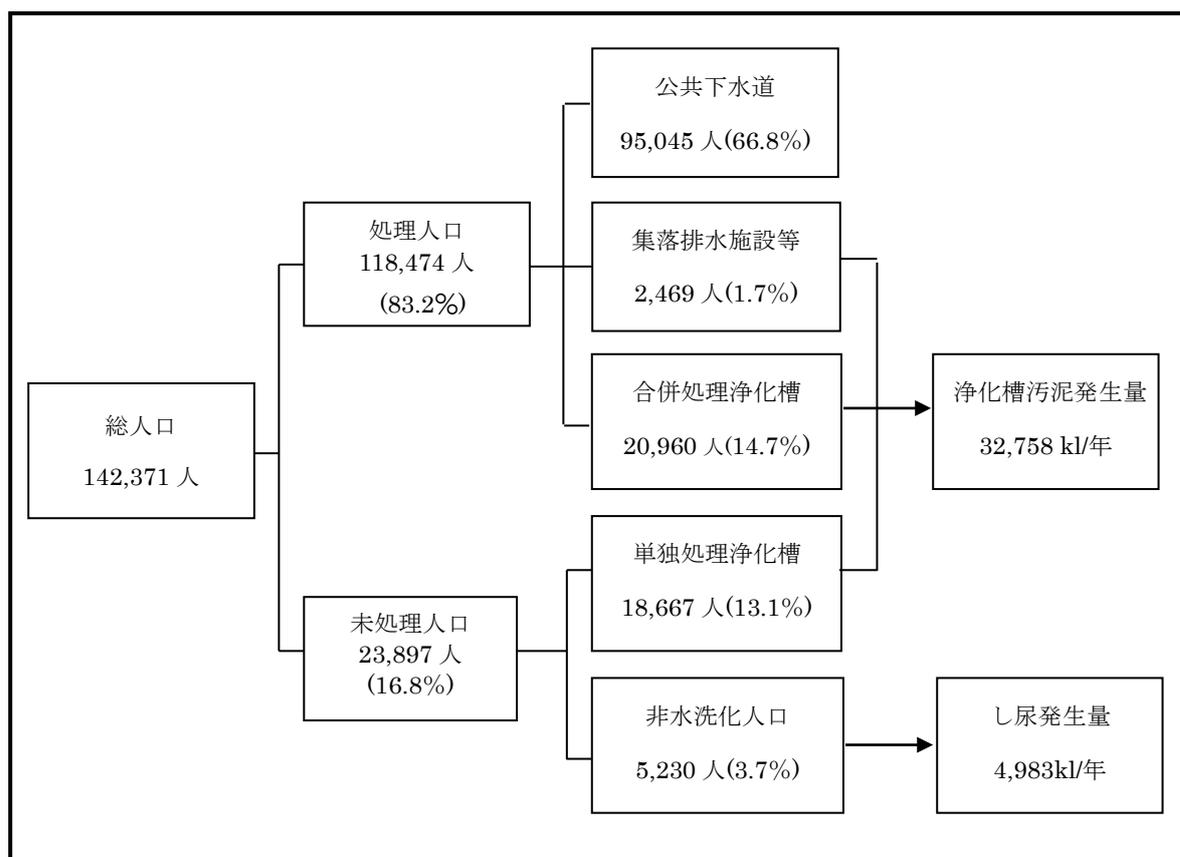


図 2 生活排水の処理状況フロー（平成 22 年度：桑名市）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとします。

なお、集団回収については、当地域のうち木曾岬町と東員町でのみ実施しており、今後この2町でのみ実施されるものと考えますが、今後この2町の人口が著しく増加することは考えがたいことと、さらに各家庭においてより一層ごみ減量化に取り組まれることを考慮すると、集団回収量はわずかに減少するものと考えられます。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標・単位		現状：平成22年度 (割合※ ¹)	目標：平成29年度 (割合※ ¹)
排出量	事業系 総排出量	15,851 t	15,503 t (-2.2%)
	1事業所あたりの排出量※ ²	0.7 t	0.7 t (0.0%)
	家庭系 総排出量	55,086 t	54,965 t (-0.2%)
	1人あたりの排出量※ ³	101 kg	97 kg (-3.0%)
合計	事業系家庭系排出量の合計	70,937 t	70,468 t (-0.7%)
再生利用量	直接資源化量	11,146 t (15.8%)	11,038 t (15.8%)
	総資源化量	43,703 t (60.7%)	43,951 t (61.5%)
	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減量化量	中間処理による減量化量	23,472 t (33.3%)	23,350 t (33.4%)
最終処分量	埋立最終処分量	4,304 t (6.1%)	3,699 t (5.3%)

※1：目標年度の排出量割合は、現状に対する割合、その他は各年度の排出量に対する割合。ただし、総資源化量については、その年度の排出量と集団回収量の和に対する割合。

※2：(1事業所あたりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3：(1人あたりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

(指標の定義)

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (集団回収されたごみを除く) [単位 t]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位 t]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位 t]

最終処分量：埋立処分された量 [単位 t]

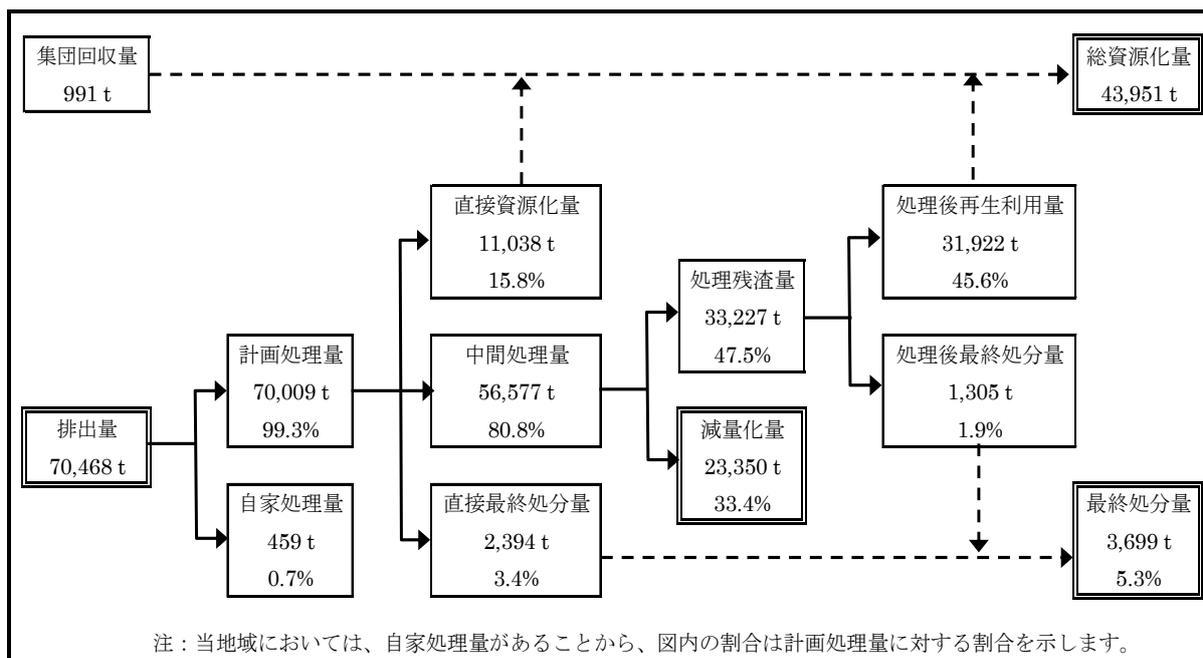


図3 目標達成時 (平成29年度) の一般廃棄物の処理状況フロー

(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、前述のとおり桑名市のみの計画ではありますが、表2のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとします。

表2 生活排水処理に関する現状と目標（桑名市のみ）

		平成22年度実績	平成27年度目標
処理形態別人口	公共下水道	95,045人(66.8%)	102,730人(72.5%)
	集落排水施設等	2,469人(1.7%)	2,469人(1.7%)
	合併処理浄化槽等 ^注	20,960人(14.7%)	23,135人(16.3%)
	未処理人口	23,897人(16.8%)	13,346人(9.4%)
	合計	142,371人	141,680人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	4,983kl	2,929kl
	浄化槽汚泥量	32,758kl	29,934kl
	合計	37,741kl	32,863kl

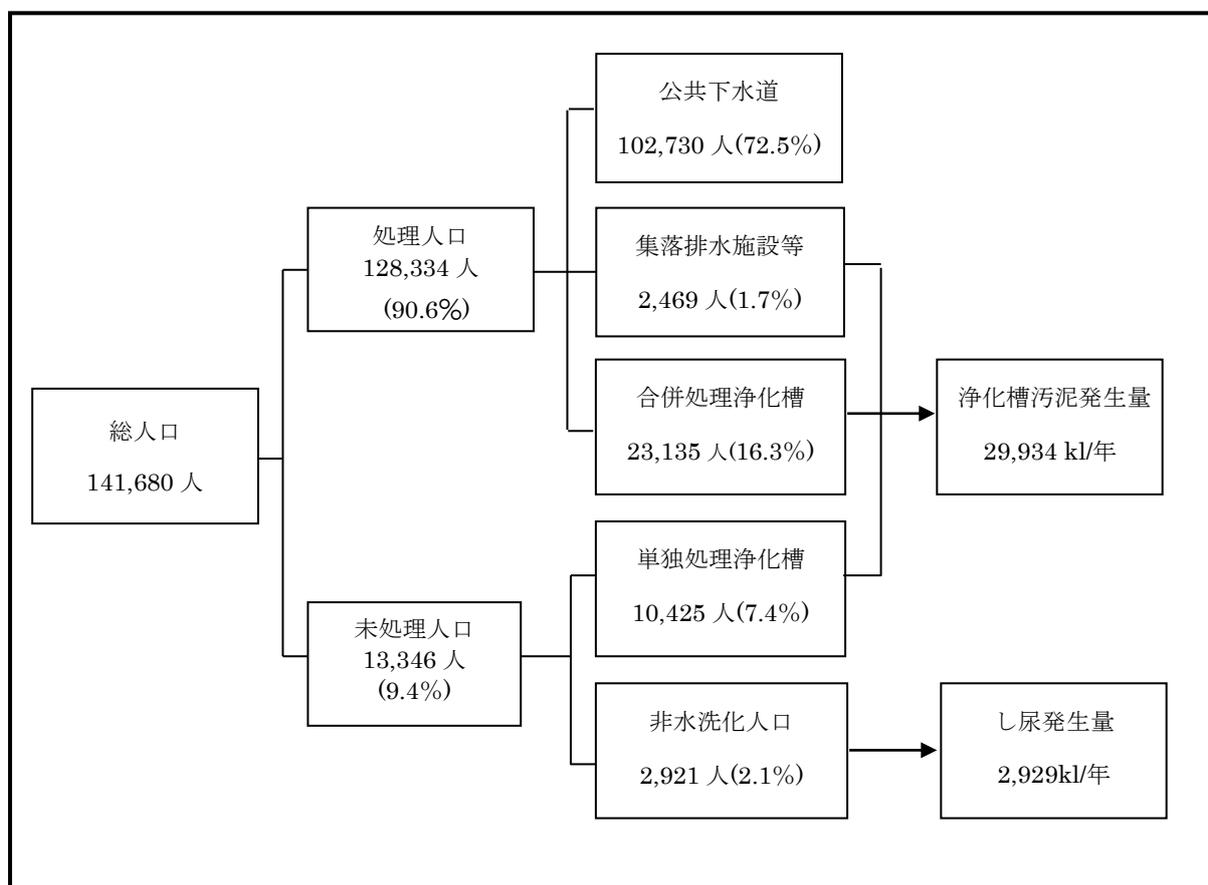


図2 目標達成時の生活排水処理状況フロー（平成27年度：桑名市）

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 有料化

家庭系廃棄物の有料化については、本地域全体において、発生排出抑制、減量化を進め、その波及効果も勘案しながら、廃棄物全般について有料化及び処理料金の検討を行っていきます。

現在、桑名市といなべ市では、可燃ごみ、不燃ごみについて市指定袋によるごみの有料化を行っておりますが、その他のごみ及び他の町では指定ごみ袋等による収集のみ実施しています。

また、事業系一般廃棄物については、桑名広域及びあじさいクリーンセンターへの直接搬入方式により処理料金を徴収しています。

イ 環境教育、普及啓発、助成

家庭及び学校教材として活用できる啓発冊子を作成・配付、環境学習用教材として環境問題関連・リサイクル関連ビデオの貸出しを行ってきましたが、今後も教材の充実及び積極的な利用を推進していきます。

学校や地域社会におけるリサイクルの取り組み、ごみ処理施設の見学会等あらゆる機会を活用し、住民、事業者に対してごみ排出量の増大、最終処分場の逼迫、処理経費の急増等ごみ処理の厳しい状況についての情報を提供し、認識を深めてもらうとともに、ごみの排出抑制、分別排出、再生利用の意義及び効果、ごみの適切な出し方に関する普及活動を推進していきます。

さらに、桑名市から委託を受けている環境NPOにより運営されている桑名市リサイクル推進施設（クルクル工房）では、子供環境学習教室等の開催、書籍・活動写真の展示等によるごみ減量・再資源化に関する情報を提供しており、今後もこれらの活動を推進していきます。

また、現在、本地域でごみ減量化に関する様々な助成が行われており、今後も更なるごみ減量化に向けた助成活動を推進していきます。

ウ マイバッグ運動

ごみ減量・生活スタイルの見直しを目的に、桑員地域2市2町（いなべ市、桑名市、東員町、木曾岬町）の共同により、広域的かつ総合的なごみ減量施策として、「桑員マイバッグ運動」にすでに取り組んでいますが、これらの取り組みを更に推進していきます。

エ 生ごみ減量化対策

家庭系ごみ発生量に占める割合の多い生ごみに対して、減量化のための施策を推進していきます。

現在、桑名市、いなべ市では生ごみ処理機の購入に際して補助金を交付していますが、この取り組みをさらに推進していきます。

オ 資源ごみ等の集団回収活動

本地域において集団回収を行っているのは東員町及び木曾岬町のみですが、今後は桑名市が実施しているようなスーパー等における店頭（拠点）回収も併せて、地域全体での資源ごみ等の回収活動の実施を推進していきます。

カ バイオマス事業拡大

廃食用油のバイオディーゼル燃料化や、剪定枝等の堆肥化等のバイオマス事業については、現在いなべ市でのみ実施していますが、今後もバイオマス事業の更なる推進に努めます。

また、可燃ごみ中の生ごみを分別し、堆肥化及び燃料化（バイオ燃料化）事業の導入に向けた研究、検討を進めます。

キ 市民・事業者・行政の役割

廃棄物の発生抑制、再生利用の促進等、廃棄物の処理に関しては、市民・事業者・行政さらに民間団体が一体となり、また、それぞれの役割を明確にした上で、廃棄物の減量・資源化に積極的に取り組んでいくこととします。

ク 生活排水対策

桑名市では、これまでも公共下水道や農業集落排水施設の整備状況と整合を図りつつ合併処理浄化槽の普及促進を行ってきましたが、今後も同様に排水処理施設との整合性を図りながら合併処理浄化槽の普及促進を行い、それから発生する汚泥や各家庭からのし尿を適正に処理することを目指し、生活排水処理施設、設備の整備・改善を推進していきます。

また、住民の水質改善意識の高揚に向けて啓発を進めていきます。

(2) 処理体制

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表3のとおりです。

平成22年度の分別区分及び処理方法については、桑名広域の構成市町（桑名市、いなべ市員弁町、東員町、木曾岬町）と、員弁町地区を除くいなべ市（北勢町地区、大安町地区、藤原町地区）との二つに分けられます。

可燃ごみについて、桑名広域の構成市町分については、桑名広域に搬入後、固形燃料（RDF）化し、三重ごみ固形燃料発電所において有効利用されております。員弁町地区を除くいなべ市では、あじさいクリーンセンターで焼却処理しております。また、いなべ市のあじさいクリーンセンターの焼却灰は、民間委託にて資源化处理しています。

プラスチックの分別について、いなべ市では平成19年より、桑名広域では平成21年よりプラスチック圧縮梱包施設で収集・処理を行っています。

生ごみの堆肥化についても積極的に促進し、循環型社会の実現に向けて取り組んでいきます。
一方、埋立てごみについても極力減らすために、更なる分別、処理方法について検討していきます。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系一般廃棄物は、現在、事業所自らがリユース等により減量化に取り組んでいますが、残りのごみについては、区域に応じてあじさいクリーンセンター、桑名広域にて適正に処理を行っています。

今後は本地域全体の循環型社会の形成に向けて発生抑制及び再生利用の啓発を行っていきます。

ウ 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き、下水道や農業集落排水処理施設が整備されていない地域において、単独処理浄化槽及びし尿汲み取りから、合併処理浄化槽への転換を推進し、適正な維持管理が図られるよう努めていきます。

エ 今後の処理体制の要点

- ・可燃ごみについては、固形燃料（RDF）化や焼却処理を行い、その処理残さについては再資源化を推進していきます。
- ・生ごみの堆肥化を支援、促進していきます。
- ・地域の可燃ごみを処理している三重ごみ固形燃料発電所については、稼働期間が平成 32 年度までとなっていることから、構成市町で平成 33 年度以降のごみ処理体制について、ごみ処理あり方検討会において今後の処理体制を検討する必要があります。
- ・公共用水域の水質保全を目指し、合併処理浄化槽の整備を推進します。

表3 桑員地域の各市町の廃棄物の分別区分と処理方法の現状と今後

現状 (H22年度)							
いなべ市 (北勢町、大安町、藤原町)				桑名市、いなべ市 (員弁町)、東員町、木曾岬町			
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (t)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (t)
可燃ごみ	焼却	いなべ市 あじさいクリ ンセンター	7,675	可燃ごみ	RDF化	桑名広域清掃事 業組合資源循環 センター	43,766
不燃ごみ	リサイクル	いなべ市 あじさいクリ ンセンター	127	不燃ごみ	リサイクル・埋 立	桑名広域清掃事 業組合資源循環 センター	1,960
粗大ごみ	リサイクル	委託	1,847	粗大ごみ	リサイクル・埋 立	桑名広域清掃事 業組合資源循環 センター	2,207
資源ごみ (プラスチック、ペットボ トル、缶類、ビン 類、古紙、古布 等)	リサイクル	いなべ市 あじさいクリ ンセンター他	836	資源ごみ (プラスチック、ペットボ トル、缶類、ビン 類、古紙、古布 等)	リサイクル	桑名広域清掃事 業組合資源循環 センター	1,858
						委託	8,267
土砂・ガレキ等	埋立	いなべ市一般 廃棄物最終処 分場	741	土砂・ガレキ等	埋立	桑名市一般廃棄 物埋立処分場	526
						東員町一般廃棄 物最終処分場	1,127



今後 (H29年度)									
いなべ市 (北勢町、大安町、藤原町)					桑名市、いなべ市 (員弁町)、東員町、木曾岬町				
分別区分	処理方法	処理施設等		処理予定 (t)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理予定 (t)
		一次処理	二次処理				一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却	いなべ市あ じさいク リンセン ター	委託	7,666	可燃ごみ	RDF化	桑名広域清 掃事業組合 資源循環セ ンター	三重ごみ固 形燃料発電 所	43,239
不燃ごみ	リサイク ル・埋立	売却・いな べ市一般廃 棄物最終処 分場	リサイク ル・埋立	124	不燃ごみ	リサイク ル・埋立	桑名広域清 掃事業組合 資源循環セ ンター	リサイク ル・埋立	1,968
粗大ごみ	リサイクル	粗大ごみ場	売却・委託	1,893	粗大ごみ	リサイク ル・埋立	桑名広域清 掃事業組合 資源循環セ ンター	リサイク ル・埋立	2,106
資源ごみ (プラス チック、 ペットボ トル、缶 類、ビン 類、古 紙、古布 等)	リサイクル	いなべ市あ じさいク リンセン ター	委託	835	資源ごみ (プラス チック、 ペットボ トル、缶 類、ビン 類、古 紙、古布 等)	リサイクル	桑名広域清 掃事業組合 資源循環セ ンター	委託	1950
							委託		8,293
土砂・ガレ キ類	埋立	いなべ市一 般廃棄物最 終処分場	-	741	土砂・ガレ キ類	埋立	桑名市一般 廃棄物最終 処分場	-	526
							東員町一般 廃棄物最終 処分場	-	1,127

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

今後、表3で示した分別区分及び処理体制で処理を行うため、表4のとおりいなべ市において必要な施設整備を行います。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	廃棄物処理施設基幹的設備改良事業	あじさいクリーンセンター基幹的設備改良事業	40 t / 日	いなべ市北勢町京ヶ野新田5番地12	平成24年度～平成25年度

※現有処理施設の一覧を添付資料1として添付します。

(整備理由)

既存施設の老朽化による機能低下に対処するため、効率的かつ効果的な施設の基幹的設備の改良を実施し、延命化措置を実施するとともに、地球温暖化防止対策に資する施設に設備改良を行うことで、施設を長期使用することとします。

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については表5のとおり、桑名市において浄化槽設置整備事業を行います。

表5 合併処理浄化槽の整備計画

事業番号	事業	直近の整備済み基数 (平成22年度)	整備計画基数 (平成23～27年度)	整備計画人口 (平成23～27年度)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業 (桑名市)	3,211 基	675 基	2,175 人	平成23年度～平成27年度

※「直近の整備済み基数」の上段は桑名市の「浄化槽設置整備事業」に係る設置基数、下段は当該整備事業も含めた累計設置基数。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

桑名広域清掃事業組合のRDF化施設に代わる新ごみ処理施設の施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表6 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価	環境影響評価	平成26年度～平成28年度
32	新ごみ処理施設整備事業支援業務(ごみ処理施設整備計画策定業務)	施設整備事業基本計画策定	平成26年度～平成27年度
33	新ごみ処理施設整備事業支援業務(整備・運営手法導入可能性調査業務)	PFI導入可能性調査	平成27年度
34	新ごみ処理施設整備事業支援業務(事業者発注支援業務)	PFI事業者選定アドバイザー	平成27年度～平成28年度

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会の形成を図るため、次の施策を実施していきます。

ア 再生利用品の需要拡大事業

再生品の消費購入を促進するため、市民・事業者に働きかけを行うとともに、三重県リサイクル製品認定制度をPRして、再生品製造・販売者の育成を図ります。

また、市町においてはエコ商品の購入を拡大し、職員の率先行動への指導を強化します。

桑名市リサイクル推進施設(クルクル工房)では、家庭から生ごみを一次処理したものを受け入れ、二次処理をして、出来た完熟堆肥を住民に還元しており、今後もこの活動を推進していきます。

いなべ市においては、平成14年度から農業公園園芸塾を開催し、生ごみの堆肥化を呼びかけ、衣装ケースによる堆肥化を行っています。また、平成15年度から農事組合法人が主体となり、農産物直売所を利用する消費者に生ごみの堆肥化を呼びかけ、衣装ケースによる堆肥化を行い、出来た堆肥を生産農家等に譲り栽培に役立てています。平成17年度からは園芸塾と同様農業公園内堆肥舎で完熟堆肥化を行っています。現在は、それぞれにおいて意見交換等を行い、より良い堆肥を作る為努力しています。今後は、この団体の統合を含め、会員を増やすべく啓発を行っていきます。

イ 家電リサイクル法に関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)に基づき、

適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店等と協力して、普及啓発に努めます。

ウ 不法投棄対策

地域住民等と一体となった不法投棄防止活動及び関係機関との連携等（パトロール等）を行い、不法投棄の防止に努めます。

また、広報や事業者向けのパンフレットで、適正な処理について協力を呼びかけ、市民や事業者の意識の向上を図って不法投棄の予防に努めます。

エ 災害時の廃棄物処理

地震災害及び風水害等に伴い発生する災害廃棄物は、基本的に各市町で策定する災害廃棄物処理計画に基づき、当該市町内の施設で処理することを原則としますが、被害の規模により市町内での処理が困難な場合においては、「三重県災害等廃棄物処理応援協定」を踏まえて、他地域への応援を要請します。

処理については、可能な限り破碎・選別等により再生利用、減量化を行った上で焼却処理し、焼却残さを有効利用するとともに、不燃物を埋立処分することとします。

4 計画のフォローアップと事後計画

(1) 計画のフォローアップ

本地域の各市町は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、本地域各市町、三重県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを実施します。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を実施します。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとします。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとします。

< 様式、添付資料等 >

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 23 年度)

1 地域の概要		(2)地域内人口	221,934 人	(3)地域面積	394.57 km ²
(1)地域名	桑名地域	(4)地域内人口	221,934 人	(5)地域面積	394.57 km ²
(4)構成市町村等名	いなべ市、桑名市、木曾岬町、東員町、桑名市、桑名市、桑名市、木曾岬町、東員町	(人口)面積	沖繩 奄美 豪雪 (山村)半島 通疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村: いなべ市、桑名市、桑名市、桑名市、桑名市、木曾岬町、東員町 設立(予定)年月日: 昭和52 年 2 月 1 日設立 設立されていない場合、今後の予定:				

2 減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状					目標	
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成29年度
排出量	総排出量(トン)	22,203	18,282	16,605	15,698	15,851	15,503 (-2.2%)	
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	1.1	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7 (-0.0%)	
	総排出量(トン)	61,479	62,814	58,968	56,433	55,086	54,965 (-0.2%)	
再生利用量	1人当たりの排出量(kg/人)	132	124	120	119	101	97 (-3.0%)	
	事業系家庭系排出量合計(トン)	83,682	81,096	75,573	72,131	70,937	70,468 (-0.7%)	
最終処理による減量化量	直接資源化量(トン)	13,756 (16.4%)	14,629 (18.0%)	10,671 (14.1%)	9,825 (13.6%)	11,146 (15.7%)	11,038 (15.8%)	
	総資源化量(トン)	41,911 (49.1%)	48,091 (56.2%)	43,614 (56.6%)	39,724 (54.5%)	43,703 (60.7%)	43,951 (61.5%)	
最終処理による減量化量	熱回収量(年間の発電力量 MWh)	-	-	-	-	-	-	
	減量化量(中間処理前後の差 トン)	29,639 (35.4%)	26,732 (33.0%)	26,693 (35.6%)	27,294 (37.8%)	23,472 (33.1%)	23,350 (33.4%)	
最終処理による減量化量	埋立最終処分量(トン)	8,368 (10.0%)	7,365 (9.1%)	5,982 (7.8%)	5,248 (7.4%)	4,304 (6.1%)	3,899 (5.3%)	

※1: 市内の総資源化割合がリサイクル率を示します。

※2: トレンドグラフを添付資料2として添付します。

3 現有施設の状況と更新・廃止・廃止・新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容				更新・廃止・新設の内容				備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新・廃止年月	更新・廃止理由	型式及び処理能力	施設竣工予定年月	
あじさいクリンセンター焼却施設	いなべ市	ハンチ	有	40t/日	1994年12月	2014.2	ハッチ焼焼	2014.2	40t/日	基幹改良後継続使用
あじさいクリンセンターストックヤード	いなべ市	選別・圧縮梱包	無	19t/日	1994年12月	-	-	-	-	継続使用
あじさいクリンセンターストックヤード	いなべ市	保管	無	屋内面積: 65m ² 屋外面積: 196m ²	1994年12月	-	-	-	-	継続使用
員弁リサイクルセンター	いなべ市	手選別	無	1.63t/日	2002年4月	-	-	-	-	継続使用
北勢組大ごみ場	いなべ市	手選別	無	屋外: 5,720m ²	1995年4月	-	-	-	-	継続使用
北勢一般廃棄物最終処分場	いなべ市	安定型	無	残余容量: 334m ³	1980年4月	-	-	-	-	継続使用
北安組大ゴミ一般廃棄物最終処分場	いなべ市	安定型	無	残余容量: 6,044m ³	1989年12月	-	-	-	-	継続使用
藤原組大ゴミ一般廃棄物最終処分場	いなべ市	安定型	無	残余容量: 5,830m ³	1984年6月	-	-	-	-	継続使用
RF化施設	桑名広域清掃事業組合	ごみ固形燃料化	有	230t/日	2002年4月	-	-	-	-	継続使用
リサイクルプラザ	桑名広域清掃事業組合	選別・破砕	有	62t/日	2002年4月	-	-	-	-	継続使用
プラスタック圧縮梱包施設	桑名広域清掃事業組合	選別・圧縮梱包	有	17t/日	2008年4月	-	-	-	-	継続使用
東員町資源ごみストックヤード	東員町	保管	無	屋内面積: 510m ² 屋外面積: 102m ²	2004年4月	-	-	-	-	継続使用
東員町一般廃棄物最終処分場	東員町	安定型	無	残余容量: 56,044m ³	1992年4月	-	-	-	-	継続使用

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状						目標
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成27年度	
総人口	140,984	141,801	141,975	141,951	142,371	141,680	
公 共 下 水 道	81,977	84,387	87,139	93,267	95,045	102,730	
集 落 排 水 施 設 等	58.1%	59.5%	61.4%	65.7%	66.8%	72.5%	
汚水衛生処理人口	2,601	2,498	2,527	2,499	2,469	2,469	
汚水衛生処理率	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.7%	1.7%	
合 併 処 理 浄 化 槽 等	22,867	24,775	25,255	21,572	20,960	23,135	
汚水衛生処理人口	16.2%	17.5%	17.8%	15.2%	14.7%	16.3%	
未 処 理 人 口	33,539	30,141	27,054	24,613	23,897	13,346	

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容 (平成22年度まで)			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	桑名市	3,211	20,960	H13	675	2,175	H27	平成23～27年度対象

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成24年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模	事業期間 交付期間	総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考				
					単位	開始	終了	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
○廃棄物処理施設基幹的設備改良事業																			
	1	いなべ市	40 t/d	H24	H25		1,648,343	659,337	989,006						1,549,242	619,696	929,546		
○浄化槽に関する事業																			
	2	桑名市					200,000	50,000	50,000	50,000					200,000	50,000	50,000		
○施設整備に関する計画支援事業																			
	31	桑名広域 清掃事業組合※		H26	H28		178,200				53,460	106,920	17,820		178,200			17,820	
	32	桑名広域 清掃事業組合※		H26	H27		13,439				6,719	6,720			13,439		6,719	6,720	
	33	桑名広域 清掃事業組合※		H27	H27		4,968					4,968			4,968			4,968	
	34	桑名広域 清掃事業組合※		H27	H28		35,979					3,598	32,381		35,979			3,598	
合計							2,080,929	709,337	1,039,006	110,179	172,206	50,201	1,981,828	669,696	979,546	110,179	172,206	50,201	

※構成市町のうち、いなべ市を除く

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	施策番号	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	
発生抑制、再 使用の 推進に関する もの	11	有料化	廃棄物全般の有料化に向けて検討していきます。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		検討					
	12	環境教育、普及啓発	学校や地域の住民に対し、ごみの分別や再資源化の大切さを普及啓発します。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	13	資源物回収事業	自治会における資源ごみ回収ならびにリサイクル推進施設及び市内大型スーパー駐車場で資源物回収を実施し、資源物を出しやすい環境を整えます。	桑名市	H 24	H 28		施策実施					
	14	助成(ごみ減量対策)	家庭において容易にごみを原料することができるコンポスト等の助成を推進します。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	15	助成(資源ごみ回収事業)	資源ごみ分別回収を行う自治会・団体等に対し、報奨金・助成金の交付を行います。	木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	16	マイバッグ運動	桑名地域で現在進めている「桑名マイバッグ運動」をさらに推進し、レジ袋削減を図ります。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	17	資源ごみ集団回収活動	スーパー等の拠点(店頭)回収活動の推進	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施及び推進					
	18	バイオマス事業拡大	BDF、剪定枝等の堆肥化等のバイオマス事業を推進します。また、その他のバイオマス導入を検討します。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施及び検討					
	19	市民・事業者	役割を明確にし、減量・資源化に取り組みます。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	20	生活排水対策	水質改善意識の高揚の啓発	桑名市	H 24	H 28		施策実施					
処理施設の 整備に関する もの	1	あじさいクリーンセンター基幹的設備改良事業	長寿命化計画に基づく基幹的設備の改良工事を行います。	いなべ市	H 24	H 25	○	←→					
	2	合併処理浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に基づき登録された10人槽の設置者に対し補助します。	桑名市	H 23	H 27	○	→					
施設整備に係る 計画支援に 関するもの	31	新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価	環境影響評価	桑名広域清掃事業組合※	H 26	H 28	○	←→					
	32	ごみ処理施設整備計画策定業務	施設整備事業基本計画策定	桑名広域清掃事業組合※	H 26	H 27	○	←→					
	33	整備・運営手法導入可能性調査業務	PFI導入可能性調査	桑名広域清掃事業組合※	H 27	H 27	○	←→					
	34	事業者発注支援業務	PFI事業者選定アドバイザー	桑名広域清掃事業組合※	H 27	H 28	○	←→					
その他	41	生ごみの一次処理による減量化	家庭から出る生ごみを衣装ケースを用いて堆肥化への一次処理を行い、その後搬入先において二次処理をし、出来た完熟堆肥を住民(生産農家等)へ還元します。	いなべ市、桑名市	H 24	H 28		施策実施					
	42	再生利用品の需要拡大事業	再生品の消費購入を促進するため、市民・事業者に働きかけを行うとともに、三重県リサイクル製品認定制度をPRして、再生品製造・販売者の育成を図ります。市町においてはエコ商品の購入を拡大し、職員の率先行動への指導を強化します。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		検討					
	43	家電等リサイクルに関する普及啓発	各種リサイクル法に基づき、処理することの普及啓発活動を実施します。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	44	不法投棄対策	分別区分の徹底とパトロールを行います。	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					
	45	災害時の廃棄物処理体制の整備	災害廃棄物処理を踏まえた体制整備	いなべ市、桑名市、木曽岬町、東員町	H 24	H 28		施策実施					

※構成市町のうち、いなべ市を除く

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名：三重県

(1) 事業主体名	いなべ市
(2) 施設名称	あじさいクリーンセンター
(3) 工期	平成24年度～平成25年度
(4) 施設規模	処理能力40 t／日（20 t／日×2炉）
(5) 処理方式	バッチ式焼却炉（ストーカ方式）
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 有（発電効率 %） ・ <input type="checkbox"/> 無 2. 熱回収の有無 有（熱回収率 %） ・ <input type="checkbox"/> 無
(7) 地域計画内の役割	延命化計画による基幹的設備改良であり、CO ₂ 発生量の3%の削減
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="checkbox"/> 無

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラグの利用計画	
--------------	--

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率 Nm^3/t 2. 発生ガス量 $\text{Nm}^3/\text{日}$
(11) 回収ガス利用計画	

(12) 事業計画額	¥1,648,343,000
------------	----------------

施設概要（浄化槽系）

都道府県名：三重県

(1) 事業主体名	桑名市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上を促進することを目的とする。 浄化槽法（昭和58年法律第43号）第2条第1号に規定する浄化槽であって、生物化学的酸素要求量（以下「BOD」という。）除去率90パーセント以上、放流水のBOD20ミリグラム／リットル（日間平均値）以下の機能を有するとともに、合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に基づき登録された10人槽以下の合併処理浄化槽の設置者に対し補助する。
(4) 事業期間	平成23年度～平成27年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱 第3（1）ア（エ）水質汚濁の著しい閉鎖性水域の流域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 250,000千円 うち ・低炭素社会対応型浄化槽整備事業推進事業に係る事業費 一千元 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 一千元

○ 事業計画の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の内訳】

区分	交付対象基数 (人分)	うち 単独基数	基準額 (千円)	対象経費 支出予定額 (千円)	交付対象 事業費 (千円)
5人槽	400基 (1,200人分)	一基	132,800	132,800	132,800
6～7人槽	250基 (750人分)	一基	103,500	103,500	103,500
8～10人槽	25基 (225人分)	一基	13,700	13,700	13,700
11～20人槽	基 (人分)				
21～30人槽	基 (人分)				
31～50人槽	基 (人分)				
51人槽以上	基 (人分)				
合計	675基 (2,175人分)	一基	250,000	250,000	250,000

計画支援概要

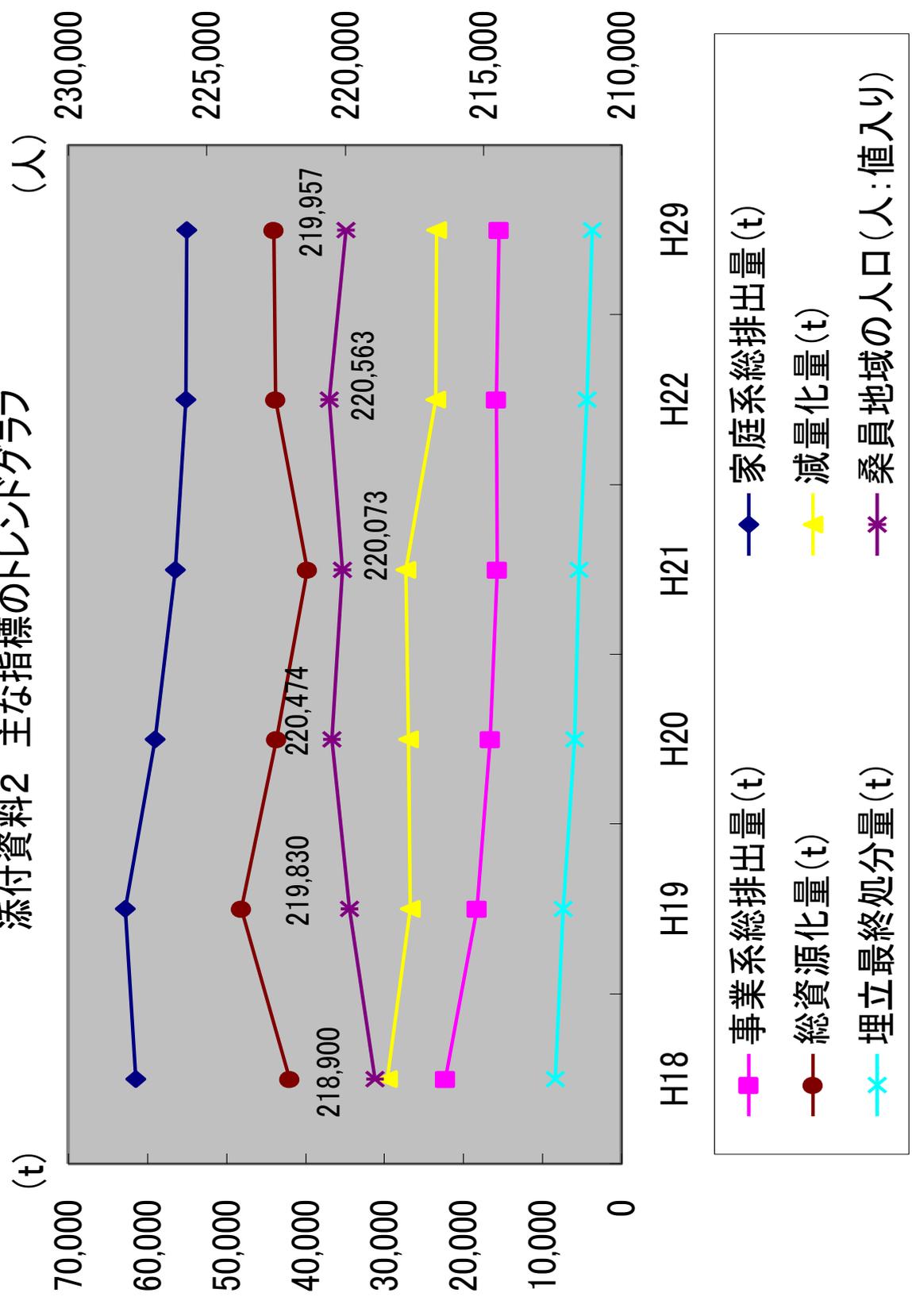
都道府県名 三重県

(1)	事業主体名	桑名広域清掃事業組合(桑名市、木曾岬町、東員町)			
(2)	事業目的	施設整備に関する計画支援のため			
(3)	事業名称	ごみ処理施設整備事業支援業務及び環境影響評価			
(4)	事業期間	平成26年度 ～ 平成28年度	平成26年度 ～ 平成27年度	平成27年度	平成27年度 ～ 平成28年度
(5)	事業概要	新ごみ処理施設 整備事業に係る環境影 響評価	施設整備事業 基本計画	PFI導入可能性調査	PFI事業者選定 アドバイザー
(6)	事業計画費	178,200千円	13,439千円	4,968千円	35,979千円

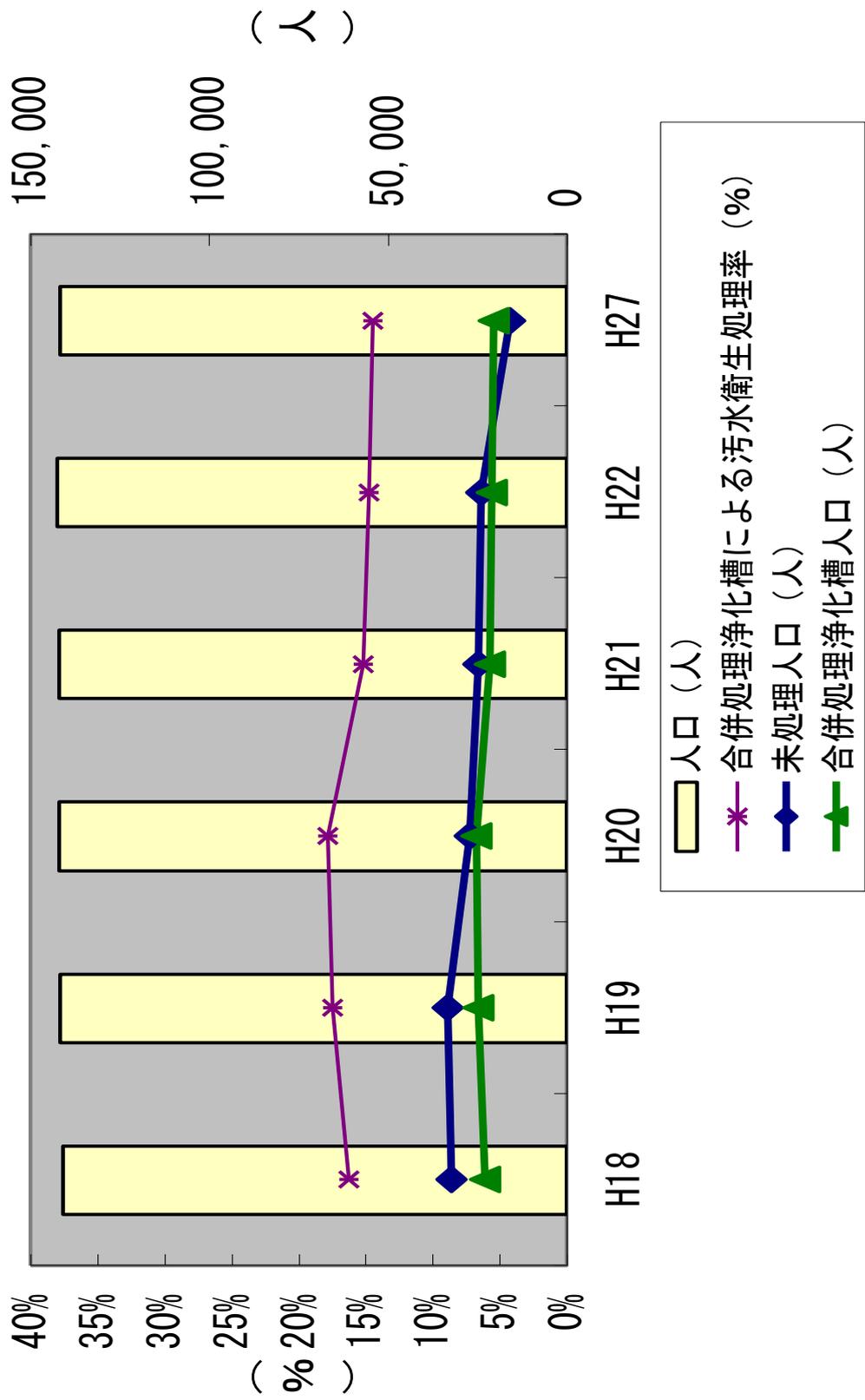
添付資料1 現有処理施設概要

市町等名称	施設名	施設の種類	処理する廃棄物	処理能力	所在地	竣工年
桑名市	埋立最終処分場	最終処分場	土砂・ガレキ類	残余容量：9169m ³	桑名市大字東込上598 他	1988年
	あじさいクリンセンター 可燃物焼却施設	焼却施設	可燃ごみ、ごみ処理残渣	40 t / 日	いなべ市北勢町京ヶ野新田 5 番地12	1994年
	あじさいクリンセンター 不燃物処理施設	ストックヤード	不燃ごみ	19 t / 日	いなべ市北勢町京ヶ野新田 5 番地12	1994年
	あじさいクリンセンター 保管施設	ストックヤード	金属類、ガラス類	屋内面積：65m ² 屋外面積：156m ²	いなべ市北勢町京ヶ野新田 5 番地13	1994年
	あじさいクリンセンター プラスチック圧縮梱包施設	容器包装リサイクル推進施設	ペットボトル、プラスチック	4 t / 日	いなべ市北勢町京ヶ野新田 5 番地13	2007年
	員弁リサイクルセンター	リサイクルセンター	古紙、古布	1.63 t / 日	いなべ市員弁町石仏1866番地 1	2002年
	北勢粗大ごみ場	ストックヤード	粗大ごみ	屋外：5,720m ²	いなべ市北勢町向平798番地1	1995年
	北勢一般廃棄物最終処分場	最終処分場	ガラス、陶磁器、コンクリート 片等	残余容量：334m ³	いなべ市北勢町阿下喜3148番地	1980年
	大安一般廃棄物最終処分場 (大安粗大ごみ場)	最終処分場 (ストックヤード)	ガラス、陶磁器、コンクリート 片等、(粗大ごみ)	残余容量：6,044m ³	いなべ市大安町石樽下381番地 4	1999年
	藤原一般廃棄物最終処分場 (藤原粗大ごみ場)	最終処分場 (ストックヤード)	ガラス、陶磁器、コンクリート 片等、(粗大ごみ)	残余容量：5,830m ³	いなべ市藤原町鼎1400番地	1984年
東員町	東員町資源ごみストック ヤード	ストックヤード	紙類、金属類、ガラス類、ペッ トボトル、布類	屋内面積：510m ² 屋外面積：102m ²	員弁郡東員町大字大木51-1	2004年
	東員町一般廃棄物最終処分 場	最終処分場	土砂・ガレキ等	残余容量：56,044m ³	員弁郡東員町大字鳥取1883-25	1992年
桑名広域清 掃事業組合	RDF化施設	ごみ固形燃料化施設	可燃ごみ	230 t / 日	桑名市多度町力尾	2002年
	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ	不燃ごみ、粗大ごみ	62 t / 日	桑名市多度町力尾	2002年
	プラスチック圧縮梱包施設	容器包装リサイクル推進施設	容器包装プラスチック	17 t / 日	桑名市東員町大字穴太2 5 4 1 番地	2008年

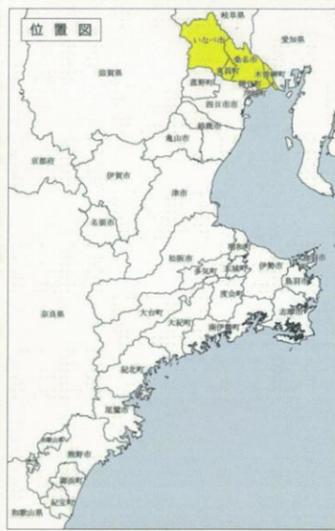
添付資料2 主な指標のトレンドグラフ



添付資料3 生活排水の主な指標トレンドグラフ



桑名建設事務所管内図



番号	路線名	番号	路線名
[No.]	一般国道	142	桑名東員線
1	国道1号	143	桑名川越線
23	国道23号	148	御衣野北郷線
258	国道258号	149	御衣野下野代線
306	国道306号	157	川原北勢インター線
365	国道365号	168	立田長島インター線
421	国道421号	401	桑名四日市線
		504	桑名海津線
		518	桑名停車場線
[No.]	主要地方道	555	大東東停車場線
3	桑名大東線	556	大東東停車場北大社線
5	北勢多度線	557	藤原停車場線
7	水郷公園線	601	本郷志礼石線
9	四日市員弁線	606	藤田迎線
14	員弁東員線	607	畑毛本郷線
18	桑名停車場線	608	畑毛東員野阿下線
23	北方多度線	609	東員野南中津原丹生川停車場線
25	南濃北勢線	610	南中津原畑新田線
26	四日市多度線	611	大東多度線
63	星川西別所線	612	多度東員線
69	清原桑名インター線	613	福島城南線
		614	藤立下野尻線
		615	西野尻場内線
[No.]	一般県道	617	田光橋戸井停車場線
106	桑名海津線	623	四日市東員線
107	時下野尻線		
108	木曾野宮停車場線		
117	多度長島線		
140	四日市野野大東線		

藤原一般廃棄物最終処分場
(藤原粗大ごみ場)
(いなべ市)

あじさいクリーンセンター可燃物焼却施設
あじさいクリーンセンター不燃物処理施設
あじさいクリーンセンター保管施設
あじさいクリーンセンター圧縮梱包施設
(いなべ市)

北勢粗大ごみ場
(いなべ市)

北勢一般廃棄物最終処分場
(いなべ市)

員弁町リサイクルセンター
(いなべ市)

大安一般廃棄物最終処分場
(大安粗大ごみ場)
(いなべ市)

RDF化施設
リサイクルプラザ
プラスチック圧縮梱包施設
(桑名広域清掃事業組合)

東員町一般廃棄物最終処分場
(東員町)

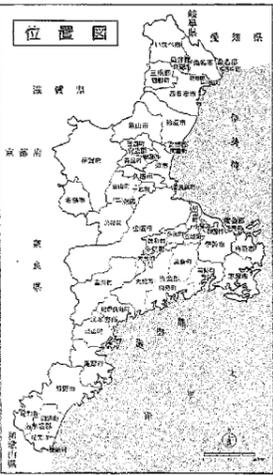
資源ごみストックヤード
(東員町)

埋立最終処分場
(桑名市)

1000 500 0 1000 2000 3000 4000m

添付資料4 現有処理施設の位置

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平21業使 第146号)



三重県いなべ市全図

あじさいクリーンセンター位置

添付資料 5 あじさいクリーンセンター位置図

